

パーパス実現に向けて

管理部門

パーパス浸透プロジェクト

管理部門パーパス浸透プロジェクトとして、パーパスを意識し日々の業務へ活かす取り組みを進めています。パーパスの意義を「**伝える**」、業務プロセスやコミュニケーションを「**彩る**」工夫を重ねるとともに、組織の価値観を「**守る**」視点で、これまでにない施策を新入社員を含む若手メンバーが一から企画・検討し実践しています。



従業員の声

営業部門 インキ営業本部インキ営業第1部第1課 佐野 裕章

お客様の課題や要望を正確に把握し、最適な解決策を「**伝えます**」。
色や機能性で印刷物としての価値を「**彩ります**」。
環境に配慮した製品のご提案を通じてお客様と社会を「**守る**」営業活動を推進します。



営業部門 化成品営業本部化成品営業第1部第2課 鈴木 真悟

お客様のニーズを捉え、社内関係者へ正確に「**伝える**」。
私たちの生活に欠かすことの出来ないプラスチックを「**彩る**」製品を販売。
お客様はもちろん、当社従業員の生活を「**守る**」意識で営業活動に取り組んでいます。



パーパスの周知活動

『「伝える」「彩る」「守る」ことで、豊かな未来を実現する』ことが当社グループのパーパスです。2025年度は、パーパスの更なる浸透を目的として、経営層と従業員が直接対話するワークショップや、若手社員・中堅社員を中心にパーパスについて考える研修を実施しました。これらの取り組みでは、パーパスを単に理解するだけでなく、日々の業務や自身の価値観と結び付けて捉え直すことを重視しています。本取り組みを通じて、パーパスへの認知そのものは着実に広がっている一方で、

「自分の仕事とどうつながるのか」を考える機会が更なる浸透を図る上で重要であることが明らかになりました。今後もパーパスを日々の業務の中で体現できるよう、対話と実践の機会創出を継続していきます。

		2024年度	2025年度	2030年度目標
パーパス	認知度	70.1%	75.9%	100.0%
	理解度	46.1%	55.0%	80.0%
	共感度	29.5%	39.2%	70.0%

営業部門 加工品営業本部土木技術開発部第1課 川俣 さくら

安全で安心な社会基盤を「**守る**」ことを軸に、
テラセル・グランドセルの設計や開発業務に取り組んでいます。
これまで培った知見を社内外に「**伝える**」、
現場を「**彩る**」技術として、より多くの場面で活用されることを目指しています。



生産・技術部門 インキ技術第1部 森 大輔

オフセットインキ市場が縮小する中、影響を最小限に抑えるため、
お客様の課題や要望を的確に捉え、解決策を分かりやすく「**伝える**」ことが重要と考えています。材料選定や処方設計により製品価値を「**彩り**」、品質と環境への配慮を両立し、
祖業である事業を「**守り**」続けています。



生産・技術部門 品質保証・企画管理部管理課 雨宮 恵美

一人ひとりの活動が「**伝える**」「**彩る**」「**守る**」というパーパスにつながっています。
気軽なコミュニケーション（**伝える**）から、メンバー自身が自然とパーパスに意識が向くように“らしさ”を育て（**彩る**）、自己と仲間の成長を共に楽しめる雰囲気を持った環境を広げていきたいです（**守る**）。

